

【別紙様式】

<p>銚子市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	下水道事業会計操出・補助		
総事業費 (千円)	23,838千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	23,838千円
事業概要	<p>①目的 コロナ禍において原油高騰や電気ガス料金が上昇する中で、市民生活を支える下水道事業を、下水道料金を上昇させず事業継続していくための補助金を交付する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 下水道事業会計に繰り出し、原油高騰、電気ガス料金の増額を伴う下水道料金を上げないための経費 23,838千円 (R5決算見込額61,469千円-R3実績額37,629千円)</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 銚子市下水道事業を実施するもの1者 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 他に代わる事業が存在しない銚子市下水道事業の電力価格高騰の影響による経営悪化は、銚子市民の生活や地域経済に悪影響を及ぼすため、銚子市下水道事業の電力価格高騰・物価高騰分について支援し、ライフラインである下水道事業を継続する。</p> <p>④期待される効果 電力価格高騰の影響下においても、銚子市下水道事業の安定的な事業継続が図られることにより、銚子市民の社会経済活動が維持され、その生活の安定が確保される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>銚子市下水道事業は、電力価格高騰による事業費の大幅な増大により、令和5年度の事業収支が悪化しており、地方創生臨時交付金を活用して支援することで、事業の継続と経営の安定化を図る必要がある。</p>		